

生物多様性増進の取り組みが企業価値として評価される時代に ネイチャーポジティブ(自然再興)支援セミナー

九州で初めての“ネイチャーポジティブ”をテーマに 民間事業者を対象としたセミナーを開催

2022年に開催された生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)で採択された新たな世界目標「昆明・モントリオールターゲット」では、2030年にネイチャーポジティブの実現が定められました。

生物多様性増進に取り組む企業が評価され企業価値に反映されていく時流について、その背景や民間企業の具体的な事例を知り、事業メリットなどの理解を深める機会としてセミナーを開催いたしました。



◆ ネイチャーポジティブ経済への移行が 社会経済持続のカギに

基調講演 1 島谷幸宏さん／熊本県立大学特別教授



島谷幸宏さん(熊本県立大学特別教授)

◆国内でもネイチャーポジティブ経済移行戦略の動きが活発に

国際的な動きとともに国内では生物多様性国家戦略が2023年から練り直され、ネイチャーポジティブ経済移行戦略という大きな枠組みが始まりました。

◆環境への取り組みに関する財務情報の開示がはじまる

企業の活動が自然環境に対してどのように影響があり、どのような対応を行っているのか情報開示するとともに、ビジネス機会として生かすという動きが具体的に進んでいます。

◆ 環境情報の開示が 企業評価の指標となる

基調講演 2 松川恵美さん／CDP Worldwide-Japan



松川恵美さん(CDP Worldwide-Japan)

◆気候変動とともにネイチャーポジティブも先行して準備を

環境に関する考え方の変化に伴い、CDPの質問に対しても脱炭素だけでなく、ネイチャーポジティブも一緒に取り組む必要性が出てきました。

◆サプライチェーンの情報開示も求められている

自社の取り組み取組だけでなく、サプライチェーンまで含めた気候変動や自然環境へのリスク及び対応策の情報開示も求められています。サプライチェーンも含めた評価が行われます。



ネイチャーポジティブの取り組みとして 自然共生サイト認定の活用を

話題提供 1 鈴木規慈さん／九州地方環境事務所

環境省では企業による生物多様性増進活動の支援として自然共生サイト認定を行っています。

認定により交付金の活用などのメリットを受けることができますようになっています。



鈴木規慈さん(九州地方環境事務所)



工場敷地内でのビオトープ形成で 自然共生サイトに認定

話題提供 2 堤直也さん、熊谷孝善さん／住友ベークライト

住友ベークライトは2010年に「日本経団連生物多様性宣言」パートナーズに参加、工場敷地内でのビオトープ形成に着手し、2023年に自然共生サイトに認定、2024年にOECM登録を受けました。現在では地域の教育等にも活用されています。



堤直也さん、熊谷孝善さん(住友ベークライト)



廃棄物処分場跡地に自然再生、 自然共生サイトに

話題提供 3 安枝裕司さん／響灘ビオトープ

響灘ビオトープは、廃棄物処分場跡地にビオトープが形成され、福岡県内唯一の自然共生サイトに認定、国連OECMへ登録されています。維持管理には周辺企業やJリーグクラブも参加し、自社の敷地内に緑地等がない場合のネイチャーポジティブへの参加事例となっています。



ネイチャーポジティブは 企業が新たな価値を生んでいく活動

パネルディスカッション

環境活動というのは公的な機関の取り組みという印象がありました。これからは、民間企業が自らその価値を作り出し利益をも生んでいく活動、という新たなものになっていきます。

このような活動を推進するための新たな支援制度・認定制度、評価基準等の整備状況、自然共生サイトの維持管理等が話題となり、ネイチャーポジティブへの取り組み推進の必要性やネイチャーポジティブ活動企業への公的支援制度についても活発な議論が交わされました。



パネルディスカッションの様子

本セミナー開催にあたり、ご後援いただきました九州地方環境事務所、北九州市、福岡グリーンインフラ研究会、(一社)北九州緑化協会、(公社)福岡県造園協会、(一社)日本造園建設業協会九州総支部に深く御礼申し上げます。

お問い合わせ

株式会社エコプラン研究所 (担当：安枝)
北九州市若松区高須西1-14-13 093-741-5189 eco@ecoplan.jp

株式会社福山コンサルタント (担当：国分)
福岡市博多区博多駅東3-6-18 092-471-0211 <https://www.fukuyamaconsul.co.jp/inquiry.cfm>

セミナー動画
視聴のお申込み

